

# 前橋市立図書館だより

LIBRARY LIFE



前橋こども図書館に絵本作家・野村たかあきさんが登場  
絵本作家と妖怪のお面をつくらう！



## 私のおすすめの一冊

『ヘンリーシュガーの  
わくわくするお話』

ロアルド・ダール著 評論社

前橋市立図書館 司書 峯岸 久美

私のダールとの出会いは、当時小学生だった息子が学校の図書室から借りて来た『マチルダはちいさな大天才』が始まりでした。作品の多くは、愚かで欲の深い人間がこれでもかと言うほど「ぎゃふん」と言われ、爽快な読後が味わえます。読み進めていくうちに、どんどんダールの世界にのめり込み、魅了されていきました。この『ヘンリー・シュガーのわくわくするお話』は、彼の自伝的作品を含む7つの短編からなりますが、どこからがフィクションなのかその境界が分からず、現実と空想の狭間で読者の好奇心をじゅうぶんに満たしてくれます。冒頭でダールは「この本を、わたしの息子と3人の娘を含めた（中略）すべての若い人々に、愛情と共感を持って捧げる」と書いています。この本を読んで、子どもから大人まで全ての世代の方々に、ぜひ、わくわくしていただければと思います。



前橋市立図書館 | MAEBASHI CITY LIBRARY

休館日 祝日の場合は開館し翌日休館

前橋市立図書館本館、上川淵・下川淵・桂萱・総社・元総社・総合教育プラザ・南橋・大胡・富士見分館

月曜

城南・東・芳賀・清里・宮城・柏川分館

木曜

前橋こども図書館

第4水曜

※ 1月20日(月)から23日(木)まで、特別整理で各分館が休館になります。本館・こども図書館は通常通りです。



(上) 開館時の現前橋市立図書館 (下) 萩原朔太郎『月に吠える』の初版本

令和の時代となり、初めての正月を新たな気持ちで迎えられた方も多いことでしょう。前橋市立図書館も開館してから104回目の正月を迎えました。そこで、その長い歴史の中であまり知られていない出来事をいくつか紹介します。前橋市立図書館は大正天皇即位記念として設立が決まり、大正5年4月に開館。昭和20年3月、戦禍から逃れるため臨江閣への移転が決まりましたが、急遽臨江閣を日本軍が使用することとなり、桃井小へ移転し同年5月に開館。前橋市制施行80周年記念事業として新館（現本館）を建設し、昭和49年5月に開館。昭和58年12月、当時図書館で所蔵していた萩原朔太郎の資料を視察するため、米国コロンビア大学教授（当時）のドナルド・キーン氏が来館。このほかにも数々の出来事とともに歴史を刻んできた前橋市立図書館ですが、これからも皆様とともに新たな歴史を作っていきます。どうぞよろしくお願いいたします。（浅見）

編集よもぎま話

あけましておめでとうございます。令和になり初めての新年を迎えました。図書館では令和の言葉があらわすように文化を育み、多くの利用者の皆様に愛される図書館として、この一年も進んでまいります。

今年もどうぞよろしく  
お願いいたします。

館長  
伊井直文の  
つぶやき



謹賀新年  
Since.  
2019.04

前橋市立図書館  
JP-1000546

図書館だより 第357号 令和2年1月発行  
〒371-0026 前橋市大手町二丁目12番9号  
TEL 027-224-4311 FAX 027-243-1877



WEB  
SITE

蔵書検索  
調査相談  
利用案内







## ■ ふゆの映画会

CINEMA

本館3階視聴覚室で、ふゆの映画会を開催します。事前の申し込みは不要です。当日会場へ直接お越しください。定員は各回先着30人になります。

1月23日(木) 13:30～15:19

**蟹工船** 山村 聡監督 1953年 日本  
小林多喜二原作。北洋出漁の蟹工船の過酷な奴隷労働を描く。非人間的扱いに耐えかね、ついに暴動が起きる

1月24日(金) 13:30～14:50

**シーズンズ 2 万年の地球旅行** ジャック・ベラン監督 2016年 フランス  
氷河期が終わり、生命が大きく躍動を始めた過去2万年にわたる地球の歴史を再現したドキュメンタリー

1月25日(土)

10:00～10:50 **ざんねんないきもの事典**

徳永真利子監督。これまであまり語られてこなかった生き物たちの一面を紹介。大ヒット児童書を映像化

11:00～12:00 **おしりたんてい 3**

NHK Eテレで放送のシリーズ。ププッブラウンものがたり/ププッむらさきふじんのあんごうじけん



## 教えて！あなたの町の思い出を 前橋郷土かるた展

◀ 前橋かるたをはじめ、富士見かるたなど各地域のかるたがそろ

EXHIBITION

本館2階展示室  
3月8日まで

本館2階展示室では、3月8日(日)まで前橋郷土かるた展を開催中。身近な地域の代表的な自然・歴史・産業・文化・人物を詠んだ郷土かるた。世界で唯一無二、日本独自の文化です。郷土かるたの数は群馬県が全国1位(日本郷土かるた協会調べ)で、富士見かるたは大会回数が日本一とされています。前橋の郷土かるたを見ながら、あなたの町のエピソードを思い出カードに綴ってください。

## 前橋こども図書館



EVENT

WEB  
SITE

絵本読み聞かせイベントなど詳しくは同館ウェブサイトをご覧ください。



### ● 絵本作家と妖怪のお面をつくろう！

絵本作家の野村たかあきさんを講師に、家にあるガラクタでオリジナルの妖怪のお面を作ります。

日時＝2月15日(土) 午前10時～正午  
場所＝K'BIX 元気21まえばし4階411アトリエ  
対象＝幼児・小学生と保護者、先着36人  
持ち物＝家にあるガラクタ(不要な段ボール・空き箱など)、はさみ、のり、色鉛筆、絵の具など  
申し込み＝1月23日(木)から前橋こども図書館(☎027-230-8833)へ



野村たかあきさん

### ● ぬいぐるみのおとまり会

ぬいぐるみと一緒に読み聞かせを楽しんだ後、ぬいぐるみが図書館にお泊り。その後、ぬいぐるみが図書館で過ごした様子の写真と一緒におすすめ本を貸し出します。  
日時＝3月24日(火) 午後3時～5時  
※ぬいぐるみのお迎えは3月26日(木) 午前10時～午後5時  
対象＝市内在住で両日参加でき、利用カードを持つ小学2年生までのお子さんとぬいぐるみ、抽選10組



申し込み＝1月23日(木)～2月16日(日)(必着)までに往復ハガキで。ぬいぐるみのおとまり会希望・子どもの図書館利用カード番号・氏名・年齢・住所・電話番号を記入し、〒371-0023 本町二丁目12-1・前橋こども図書館へ

## シンプルに料理に活かします

## 江戸料理は地域の旬の食材を

INTERVIEW

時代小説、女流作家をテーマに話し合いや料理の講座を開催します。小説に出てくる江戸料理を和食アドバイザーの酒井さんが導きます。

## 時代小説に登場する料理を五感で楽しむ

### ● 講座「時代小説好きな人集まれ」女流作家

女流作家の時代小説をテーマに調理実習と話し合いの講座を開催します。江戸時代の料理を作ることと時代小説の世界をより深く探求し、話し合いを通じて新たな作品を開拓しましょう。

#### 1. 江戸料理を作ろう～女流作家版～

日時 | 2月9日(日) 午前10時～午後1時  
会場 | 中央農業大学校調理実習室(南町二丁目31)  
講師 | 和食アドバイザー・酒井晶子さん  
用意 | 材料費1,000円、手拭きタオル、ふきん、三角巾、エプロン、筆記用具

#### 2. 女流作家の魅力を語ろうー ワールドカフェー

自由に意見を出し合う話し合いを行います。  
日時 | 2月16日(日) 午後1時30分～3時30分  
会場 | 前橋市立図書館本館 地下講堂



対象 | 一般(両日参加)、先着24人  
申し込み | 1月31日(金)までに前橋市立図書館(☎027-224-4311)へ

◀ 料理例は一昨年のも

「和食は食材の下処理に手間がかかりますが、シンプルな調理法で食材の味を活かすことのできる優れた料理です」と語る和食アドバイザーの酒井晶子さん。ユネスコ無形文化遺産である「和食」という食文化を地域に継承しています。今回の講座では、宮部みゆきさんの小説に登場する「小田巻き蒸し」を作ります。「茶碗蒸しの中に、うどんが入った群馬では珍しい料理です。江戸料理の特色は、旬の食材を使い、四季の味を活かすこと。これは体に優しい健康的な食生活につながります」。料理はその時代について知る大きな手がかりとなり、小説の世界を広げてくれます。

### ● おしゃべりリプロ「時代小説」

時代小説をテーマに本を紹介し、参加者同士で語り合うおしゃべりリプロを開催。進行役は図書館サポーターの原嶋桂蔵さんです。本の紹介者と観覧者を募集します。本の紹介者は「時代小説」と聞いて思い浮かぶ本を一冊持参してください。紹介時間は5分。  
日時＝1月28日(火) 午後1時30分～午後3時  
会場＝市立図書館本館 3階視聴覚室  
対象＝本の紹介者、先着10人 観覧者、先着20人  
申し込み＝同館(☎027-224-4311)へ